

【対象者】 児童生徒・保護者・職員・同窓会・学校評議員・地域住民：アンケート（任意回答）
障がい関係団体：個別に訪問して意見聴取

○ アンケート結果

(1) 名称のあり方・方向性等について（盲学校・ろう学校・養護学校別のご意見）	
盲学校 ろう学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校名は伝統や愛着があり、今の名前前で定着している。視覚障がいのある生徒が長い校名を書くのは大変では ・盲学校としての伝統を維持してもらいたい。障がいは隠すべきことでなく、ともに共生社会を創るべき。 ・卒業生の心の拠り所で、昔からの名称で親しんでいる。母校を愛する同窓生の思いを大切にしたい。 ・幼少期から「ろう学校」という名称に親しみ慣れている。子どもも「支援」という言葉が入ると普通の学校との差別を感じると話している。 ・「～支援」の場合、「足りないものを補う」というイメージがあり違和感がある。 ・「特別」の言葉の使用によって、特別と普通に分けるレッテルを貼ることになる。「特別」のレッテルを貼られた子どもの未来の可能性を奪ってしまう。ろう教育の専門性を尊重し発達させることが大切。 ・「母校の校名が変わってしまう」が理由なら、それは誰もが有り得ること。今の児童生徒のことを考えた名称にした方がよい。 ・盲学校というと、全盲の方ではないと入れない印象がある。入学して、初めて視覚支援をしてくれる場所と知った保護者もいた。「視覚支援」と表示してあると、弱視の親御さんにもわかりやすい。 (外部の人に、盲学校には弱視の生徒もいることを伝えると驚かれることが多い) ・「ろう学校」という名称が社会の中に浸透していることを考えると変更しないでよいと思うが、名称を変えることで入学する人の気持ちが和らぐのであれば変えてもよい。 ・聴覚という言葉が入った方がより広い方々にニーズが分かりやすい。 ・校名に関わっての思いや考え方については、年代や障がいの状況・立場によっても異なる。
養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れ親しんでいる校名であり、変わることで児童生徒が混乱してしまう心配がある。 ・障がいのある子どもへの支援学校として「養護学校」という名が馴染んでいて、誰でもわかりやすい。 ・障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち指導支援する特別支援教育。それに準じるならば、特別支援学校がよい。 ・養育と保護を全て含む養護学校でよいかと思ったが、法律上、変更したのであれば変更した方がよい。 ・42都道府県は校名を変更済みということもあり、名称変更の要望が多いなら、全国のようにしたい。 ・最近では、特別支援学校という言い方が一般的な気がする。養護学校という言い方をあまりしないのに、実際の名称は養護学校になっている。言い方がふたつあるようでややこしい。 ・障がい種にとらわれず、また重度重複障がいにも対応している特別支援教育という言葉に込められた願いを実現するためにも学校名の変更は必然。 ・盲学校、ろう学校、養護学校の総称を特別支援学校と考えると、各学校、子ども達の障がいに応じて専門的な環境や設備が整っているため、名称においても区別が必要。 ・養護という言葉に偏見を持つ人も多い。他県ではほぼ使われておらず、古いイメージを変えたい。 ・長いこと親しまれてきた名称であるが、子どもたちが書くには「養護」の漢字が難しすぎる。「支援」も同じ。子どもたちのことを考えてほしい。 ・名称を変えても社会に於ける立ち位置は変わらないかもしれないが、名称を変えるチャンスがあるならば試してみても良い。

(2) 名称に寄せる思い（全般的なご意見）

- ・地元や地域から親しみやすい名称がよい。
- ・児童生徒が言いやすい名称がよい。
- ・市内に1校の養護学校ではなくなったので、地域がわかる名前がよい。
- ・養護学校の名称が変更されるなら、盲学校やろう学校も同じように（ある程度合わせた形に）変更した方がよい。
- ・視覚の特別の支援を必要、という意味合いのように、障がい種は可能であれば含まれた方がわかりやすさはある。
- ・シンプルで分かりやすい「地名＋特別支援学校」のような名前がよい。
- ・「地名＋支援学校」のように、特別ではなく当たり前の支援を提供したい。
- ・「地名＋シンボル＋学校種名」のような児童生徒が親しみを持ち、明るい響きの校名がよい。
- ・地名は所在の地域だけでなく、分教室もあるため、広域の学校である事がわかるものがよい。
- ・特別支援といった表記を無くすことで、特別扱いされる精神的負担を減らすことができる。
- ・将来を見越した校舎改築の準備が進められている中、ハード面ばかりでなく、新しい未来の学校の創造という意味でもそのシンボルとなるような校名がよい。
- ・支援は災害などで困っている人など特別な理由に使うべきで、ハンデが有る無し関係なく、日々日常生活を送っている人に使うべきでない。日常生活では偏見差別を生む恐れがある。養護も支援も校名に使うのは、結局、健康体の人の上から目線の言葉になってしまうことも考えながら変更してもらいたい。
- ・暖かく受け入れてくれそうな名前がよい。
- ・ひらがなやカタカナ、英語（！？）が入っていると柔らかいイメージや明るいイメージになってよい。
- ・〇〇町の「元気がでる公園」のように、何も関係ないけど、希望のある名前がよい。
- ・海外では Special school というように、グローバルな視点からも特別支援学校のほうが海外でも通用する。養護の翻訳は難しい。
- ・将来的に地域を担う役割（場所）になっていくのであれば「学園」等の名称もよい。
- ・学園とつけると私学的に見えてしまうので避けた方がよいのでは。